

落札者の決定について（具体例による理解促進資料）

当入札は想定事業量をもとに複数単価の入札額から総額を算出し、落札者を決定します。
本書では、具体例を用いて、その仕組みを説明します。

（例）帯広市バス運行委託業務（〇〇課分）

【想定事業】

	日程	車種	配車地	到着地	運行予定時間	走行予定km	備考
1	6/1	大型	10:00 市役所	16:00 市役所	6時間	150 km	十勝管内周遊・日帰り
2	6/3	大型	10:00 市役所	17:00 市役所	7時間	180 km	//
3	6/4	中型	9:00 市役所	15:00 市役所	6時間	100 km	//
4	6/15	小型	9:00 市役所	15:00 市役所	6時間	100 km	//
5	7/1	大型	10:00 市役所	16:00 市役所	6時間	170 km	//
大型 計					① 19時間	② 500 km	-
中型 計					③ 6時間	④ 100 km	-
小型 計					⑤ 6時間	⑥ 100 km	-

※入札に当たっては、営業所～配車地及び到着地から営業所までの走行時間と走行距離、行程前後の点検に要する時間は計算しません。

この業務を、指名競争入札でA社、B社、C社が下記の金額で入札した場合

A社 入札額			B社 入札額			C社 入札額		
	時間当たり単価	km当たり単価		時間当たり単価	km当たり単価		時間当たり単価	km当たり単価
大型	6,000円	170円	大型	5,000円	140円	大型	4,000円	120円
中型	4,000円	130円	中型	5,000円	140円	中型	3,800円	100円
小型	3,100円	100円	小型	4,000円	120円	小型	3,500円	100円

※（C社）

入札した大型の時間当たり単価（4,000円）が、平成26年3月27日付北海道運輸局公示127号において示された金額の下限額（4,250円）を下回っているため、**無効**となります。

各車種の合計走行時間と合計走行距離（①～⑥）に入札単価を掛けた総額で落札者を決定します

【計算式】

大型バス 合計走行時間【①の部分】（19時間）×入札単価（〇〇〇〇円）＋
 // 合計走行距離【②の部分】（500km）×入札単価（〇〇〇円）＋
 中型バス 合計走行時間【③の部分】（6時間）×入札単価（〇〇〇〇円）＋
 // 合計走行距離【④の部分】（100km）×入札単価（〇〇〇円）＋
 小型バス 合計走行時間【⑤の部分】（6時間）×入札単価（〇〇〇〇円）＋
 // 合計走行距離【⑥の部分】（100km）×入札単価（〇〇〇円）

【この場合の合計値を計算すると…】

（A社）

大型【時間】19時間×6,000円＝114,000円
 // 【距離】500km×170円＝85,000円
 中型【時間】6時間×4,000円＝24,000円
 // 【距離】100km×130円＝13,000円
 小型【時間】6時間×3,100円＝18,600円
 // 【距離】100km×100円＝10,000円
合計 264,600円

（B社）

大型【時間】19時間×5,000円＝95,000円
 // 【距離】500km×140円＝70,000円
 中型【時間】6時間×5,000円＝30,000円
 // 【距離】100km×140円＝14,000円
 小型【時間】6時間×4,000円＝24,000円
 // 【距離】100km×120円＝12,000円
合計 245,000円

【結果】

A社	264,600円
B社	245,000円
C社	失格

この結果、総額が最も安いB社が落札者となります。
 なお、契約は入札した単価での契約となります。

※このほか、すべての入札価格が予定価格以下となる必要があります。